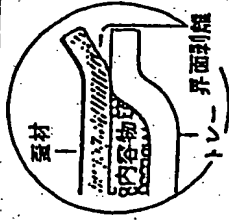
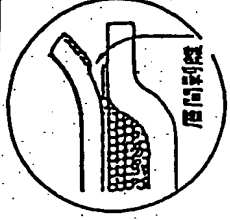
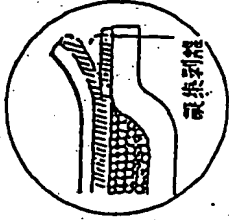


# 1. はじめに

食品包装は内容物を保存安定させるため、密封包装が現在の流通システムの中で、ますますその必要性が増してきています。この食品包装に対する消費者の苦情理由に関する調査報告を見ると開封に関するものが多い。例えば、あまりにも強固なシールが形成されて開封が非常に困難になり、包丁やカッターで切らなければならなかったため不便、あるいは無理に開けると中身が変形したり、飛び出してしまったなどである。手で容易に開封出来るビープラブル性が要求され、消費者の便利性へのニーズはますます強くなっている。

また、テアーテープ、感圧の封緘テープなど単に易開封性を付与した包装形態は古くからあったが、密封性の優れたシールと易開封性を兼ねたイージーピール形式が普及したのは最近の事である。最初はカップヌードルの蓋材に見られるようにホットメルトをコートしたものが中心だったが、作業性シール強さの安定化、耐熱性などの要求もあって、各種イージーピールフィルムが開発されてきた。最近のコンピニの開発は著しく、簡便なイージーオープン容器のニーズは非常に高く、今後ますますイージーピールフィルムの要求が高くなるものと予測されます。

## 2. 剥離機構の特徴 Fig.

剥離方式	機	構	シール強度安定性	夾持物シール性	線シール性	剥離面状態
界面剥離		容器と蓋材のシール面の界面で剥離	△	△	◎	◎
層間剥離		蓋材のシールラントが2層以上の多層で第1層(薄層)の破断及び第1層と第2層(中間層)との層間での剥離	◎	◎	△	○
硬集剥離		蓋材シールラントの硬集破断による剥離	○	◎	○	△

(A)

(B)

(C)